

県南部に新たな産業拠点誕生 テクノワールド人吉工場完成

県内への台湾積体回路製造（TSMC）の進出などで半導体の需要が高まる中、半導体装置といった精密機械の製作などを手掛ける株式会社テクノワールド（福岡県）の人吉工場が下漆田町に完成しました。

同工場では、半導体の基板となるシリコンウエハーを研磨する機械「CMP装置」のユニットを製造。製造された装置は、約3割を国内、約7割を台湾やアメリカなど海外に輸出。令和4年に建てた球磨郡あさぎり町にある工場と合わせ年間550台の生産を見込んでいます。



2月9日には竣工式が行われ、関係者らが完成を祝った

人吉球磨に春を告げる祭り 人吉球磨のひなまつり

人吉球磨の春の風物詩「人吉球磨のひなまつり」が、今年も始まりました。2月1日には青井阿蘇神社でオープニングイベントを開催。鏡開きで華やかに幕開けし、各市町村からのイベント告知や振る舞い酒などがありました。

祭りは、3月31日まで。観光客に人吉球磨を周遊し楽しんでもらうため、各市町村で、ひな人形の展示や、ひな祭りにちなんだイベントが開催されます。宿泊施設や飲食店では「おひな御前」など、この期間だけのメニューが提供されます。



オープニングイベントでは呈茶も振る舞われた

家族の笑顔があふれた時間 親子ふれあいバルーンアートショー

親子での遊びを通して家族の触れ合う時間を共有しようと、2月1日にスポーツパレスで親子ふれあいバルーンアートショーが開催されました。人吉市青少年育成市民会議の家庭部会が主催。

県内を中心に活躍中のバルーンアーティスト「縁joyすまいる」が、華麗なショーを披露し、約100人の親子を魅了。参加した西瀬小4年の松田実優花ちゃんは「雪だるまバルーン作りは難しかったけど、ショーは面白かった」と楽しそうに話していました。



ショーの合間に親子で一緒に雪だるまバルーンを制作

全線運行再開「復興の象徴」に くま川鉄道関連イベントの実行委員会発足

令和2年7月豪雨で被災し一部区間で運休が続くくま川鉄道は、令和8年度上半期に全線運行再開を迎えます。それに伴い、沿線自治体が一体となって節目を祝うイベントを推進するため実行委員会を設立しました。

1月30日の設立総会でくま川鉄道株式会社代表取締役会長の松岡市長は「多くの人に利用してもらえよう地域一丸となって機運を高めたい」とあいさつ。同実行委員会は、3月に第2回会合を開き、沿線住民を巻き込んだマイルール意識の醸成へ向けて具体策を協議します。



自治体と事業者が役割分担して運行する上下分離方式で再出発

ふるさとのPRに力を！ 人吉市観光PR大使委嘱式

市では本市の魅力発信と知名度向上を目的とした「人吉市観光PR大使」を新設しました。1月11日付で本市出身の中原丈雄さん、内村宏幸さん、内村光良さん、KiLaさんの4人を任命。第2弾として2月16日に都道府県会館（東京都）で、内村宏幸さんとKiLaさんの委嘱式を行いました。

式で松岡市長から委嘱状と特産品を贈られた内村さんは「郷土のためにPRに力を入れた」と語り、KiLaさんは「人と呼び込み、滞在してもらおうアイデアを考えたい」と意気込みを述べました。内村光良さんへの委嘱状は今後交付予定です。



放送作家 内村 宏幸さん (右)

Profile
1962年生まれ。人吉高出身。放送作家として『夢で逢えたら』や『内村プロデュース』、『ダウンタウンのごっつええ感じ』などのバラエティ番組を担当。ドラマや舞台の脚本、小説、CMなども手掛ける。球磨焼酎大使。

マジシャン KiLaさん (左)

Profile
1975年生まれ。第一中出身。目の前から会場全体まで幅広く操るマジック界のレジェンド的存在。映画『ブラック・ショーマン』のマジック演出を担当するなど、多方面で活躍中。「2024マジシャン・オブ・ザ・イヤー」受賞。



市と人吉物産振興協会から球磨焼酎や農産物も贈呈



松岡市長から委嘱状を贈呈される内村さん



式後は和やかな雰囲気の中で懇談が行われた



KiLaさんにも額に入った委嘱状を贈呈した